

群馬県産業振興基本計画(R3.4～R6.3)の進捗状況について

1. 重要業績評価指数(KPI)の進捗状況

目標を「達成」、又は目標に向かって「前進」した割合は 42.9%となっている。

(1) 評価

次の4段階で評価

- ・達成：目標を上回り達成した状態
- ・前進：目標に向かい策定時から前進している状態
- ・横ばい：策定時から目立った数値の変動が見られない状態
- ・後退：策定時より後退している状態
- (未確定：数値が公表・把握されていないもの)

(2) 進捗状況

※四捨五入により、総計が一致しない箇所がある。

評価	達成	前進	横ばい	後退	未確定	合計
項目数	2	4	0	8	0	14
割合	14.3%	28.6%	0%	57.1%	0%	100%

(3) 各KPIの進捗状況

① 達成率の高い指標(達成・前進)

重要業績評価指数(KPI)	目標値(R5)	基準(策定時)	実績(R4)	参考：前年度(R3)
5. スタートアップ支援事業による支援起業家数	90件 (R3～R5)	-	54件 (累計:102件)	48件
6. 地域経済牽引事業計画策定件数	75件 (R3～R5)	68件 (H29～R1)	21件 (累計:46件)	25件
7. 事業承継計画策定件数	600件 (R3～R5)	293件 (H30～R1)	376件 (累計:863件)	487件
8. 事業継続計画(BCP)策定支援数(県関係分)	150件 (R3～R5)	396件 (H26～R1)	74件 (累計:133件)	59件
11. 年次有給休暇取得率	62.0%	52.4%	57.6%	59.9%
13. 民間企業における障害者実雇用率	2.25%	2.14%	2.21%	2.19%

② 達成率の低い指標(後退)

重要業績評価指数(KPI)	目標値(R5)	基準(策定時)	実績(R4)	参考：前年度(R3)
1. 県内総生産(名目)	93,000億円	89,704億円 (H29数値)	86,535億円 (R2数値)	92,507億円* (R元数値)
2. 1人当たり県民所得	340万円	332.5万円 (H29数値)	293.7万円 (R2数値)	325.5万円* (R元数値)
3. 1人当たり賃金 (年間・全業種計)	450万円	431.8万円	420.1万円	418.6万円*
4. 1人当たり付加価値額 (労働生産性)	918万円	885.4万円 (H29数値)	847.1万円 (R2数値)	901.9万円* (R元数値)
9. 観光消費額	3,090億円	2,845億円	2,262億円	1,603億円
10. 延べ宿泊者数	895万人泊	865万人泊	710万人泊	510万人泊

重要業績評価指数(KPI)	目標値(R5)	基準(策定時)	実績(R4)	参考:前年度(R3)
12. 管理職に占める女性の割合	25.0% (4人に1人)	16.1%	10.7%	-
14. ジョブカフェを利用した就職者数(若者)	1,200名	1,072名	805名	799名

※前年度(R3)の実績数値のうち、1～4(*)のKPIについては最新の公表データを基にした実績値となるため、昨年度の公表時の数値と異なっている。

2. 有識者による評価・検証状況

令和5年8月23日(水)に群馬県産業振興基本計画推進有識者会議を開催し、進捗状況に係る意見・今後の取組に対する要望をいただいた。

(1)群馬県産業振興基本計画推進有識者会議構成員

氏名	所属団体・役職
伊藤 祥子	日本ミシュランタイヤ(株) 執行役員 研究開発本部 新規事業部長
手塚 加津子	昭和電気鋳鋼(株) 代表取締役
結城 恵	群馬大学 キャリアサポート室長/大学教育・学生支援機構学生支援センター教授(兼任)情報学部教授
福岡 仁志	(株)商工組合中央金庫前橋支店 支店長
福嶋 誠	(有)きたもっく 代表取締役/北軽井沢観光協会 会長
長瀬 裕一	群馬県職業能力開発協会 会長
松本 由起	ホテル松本楼 おかみ
荻野 研司	(株)両毛システムズ 相談役
武井 宏	(株)ボルテックスセイゲン 代表取締役/(一社)群馬県トラック協会 会長/安中市商工会会長
相川 章代	群馬県産業経済部長

(2)主な意見・要望

- ・SDGs推進について、どちらかといえば導入的な施策を広くやっていると思うが、実際のビジネスに反映することができる具体的な支援があれば、膨らんでいくのではないかと。
- ・進捗状況について、芳しいとはいえないが3か年計画の2年目であくまでラップとのことで、新型コロナの影響の中でKPI項目が総じて良好というのは良かった。
- ・会社によって施策情報の認知度に格差がある。知っている方は毎回利用するが知らない人は利用しない。その広報活動を広げていくと新陳代謝が生まれてくるのではないかと。
- ・県は色々取組んでいるが、全体を通して10年くらいのスパンのイメージが見えてこない。物流や人が集中した過密都市と比較して、群馬県の立地は非常に良い、といったイメージをつくる必要がある。
- ・中小企業は人手不足の中で、デジタルという重荷をどう受け入れていくか。本当に受け入れようとしている企業が真剣に取り組んだ結果が分かると呼び水になる。
- ・結果としてできたことできなかったこと、問題は何なのか、できなかったことは何なのかを深掘りすることが大事。これだけの数字が出ているのは素晴らしいこと。